常磐毎日新聞

定價　一部金武錢　一ヶ月卅錢　郵税五厘
廣告　五號十二字詰一行　五十錢
休刊　日曜大祭祝日ノ翌日
印刷所　福島縣石城郡平町鍛治町十一　本社専屬　磐陽社

發行兼編輯人　川崎文治
印刷人
發行所　福島縣石城郡平町長橋町廿五番地　常磐毎日新聞社

五月三十日夕刊

寄書
關西の旅から（九）
磐城高女旅行隊

前後も知らずに夢路をたどつてる三時半に起されて歸りの仕度を致しました、十日間の修學旅行も今日一日で終りをつげるのでございます

いよ〳〵歸るとなれば嬉しさと言へ知れぬうら悲しさを覺えて名殘が惜しまれました、けれど私達の氣持も知らぬ汽車は遠慮もなく東へ〳〵と進行致します、大磯あたりにかゝつた頃でございました、三年生の悲報を聞かされたのは私達一同はどんなに驚いた事でせう停車場に着くのもどかしく新聞紙を求めて見ましたもとよりくはしい事は知れませんでしたけれど、御氣の毒なお二人お父様お母様御兄弟其の他の方々の御悲しみ、先生方の御心配も一通りならずと深く御察し致しながら卒業生に迎へられて品川に下車致しました、二重橋前にて宮城を拜觀し兩陛下の御健康を祈り三時半の汽車にて平に向へました、私達百七名が四年生として最も意義深く其の上永い十日の間をさしたる病人も出來ずに無事終る事が出來ました事は諸先生方はじめ父兄の方々の御骨折りの賜であると深く感謝致して居ります

平驛に着いたのは九時半でございました

最後に不幸にも御災難に會はれました方々の一日も早く御全快になられますやう衷心より御祈り致して居ります

一册の代金で
御希望通りな
五册の雜誌が
自由に讀める
平町長橋町三五
川崎巡回文庫
（申込次第規則書進呈）

眞に是れ鬼に金棒！
耐火耐震耐久力の絶大なる
日本コンクリート鐵網と
拔群優秀なる斯界の權威
磐城セメントを推奬す
最も經濟的に然も超越せる無比の良材
（施工説明書を進呈致します）
特約代理店平町五丁目
和洋銅鐵
金物問屋
㊇釜屋商店
電話長九番　一三九番

クスリ
平町四丁目
關内藥局
電話四拾番
買ヒ好イ店
良品ヲ安ク賣ル

▷西洋料理調理部開設
五月二十三日ヨリ
『今度新田町通に新たに入口を開きました同時に腕きゝのコツクを雇つて西洋料理調理部を新設致し皆々様を御待ちして居ります是非一度お試食下さい』
◇各御註文品は多少に拘らず電話四十三番を御利用下さい迅速に配達致します
牛豚
洋食
氷
石川亭
平町田町　電話四十三番

開店御披露
今回精米業を開業し米穀類の御求めに應ずる事となりましたから是非御引立を願上ます
平町長橋町廿七番地
㊀關内精米店
店主　關内信二郎
電話（呼一六〇番）

親切　迅速
美術諸看板
硝子金銀文字
建築ペンキ塗
其他各種
大音堂
平町四丁目

齒科
平町土橋通り
原齒科醫院
電話卅一番

小僧さん入用
喰べておいしい
遠藤パン
（有聲座隣）

柏の傳
刺子ト染物
㊤柏屋染物店

ハーモニカ
◎永田禮次郎氏
◎川口章吾氏
◎岡本潔氏
◎松尾金五郎氏
吹込のレコード有ります
平町四丁目

會田時計店　電話三六三番

セル類・夏衣品揃
亀田屋呉服店

最新流行
洋傘帽子
安イノガ澤山揃ヒマシタ
大谷洋品部

大谷時計店
平町三丁目　電話一九番

株式賣買中値
電話に金融致します

銘格	拂込	時價
磐城銀行	五〇、〇圓	五三、五圓
平銀行	五〇、〇	六八、〇
同新	一二、五	一七、五
磐越銀行	一二、五	一〇、五
磐城實舊	五〇、〇	四二、〇
磐城實新	三五、〇	二八、〇
田村實銀	一二、五	一二、五
四倉銀行	一七、五	一七、五
農工銀行	二〇、〇	二五、〇
同新	一五、〇	一八、五
百七銀行	五〇、〇	五二、五
同新	一二、五	一四、五
七七銀行	一二、五	九、〇
東部電力	五〇、〇	四八、〇
同新	二五、〇	二二、五
只見川電	一二、五	七、五
植田水電	一二、五	一六、五
二本松電	一二、五	一四、五
磐城建物	一二、五	六、〇
磐城製菓	二〇、〇	一、五
磐城勸業	一二、五	一三、五
植田物産	三〇、〇	二六、五
平製氷	二五、〇	一八、〇
好間軌道	五〇、〇	二五、〇
入山新	三二、五	一四、〇
小田炭礦	二五、〇	七、〇
磐城炭礦	五〇、〇	四一、〇
同新	二二、五	一八、〇
磐城セメン	五〇、〇	六〇、〇
同新	三五、〇	四〇、〇
平運送	一二、五	六、五

賣買誠實懇切機敏に御取扱申候間多少に不拘御用命願上候
平町田町　電話三三二番
㊦丸登株式店
川添房二郎

白熱的闘爭の舞臺に
大團圓の幕は下りた
卅二名の運命が決せらる日
細雨が頻りに雷鳴轟く

白熱的闘爭の連續であつた町議戰は本日を以つて正に大團圓を告げた、二本の賛乏籤は何人が引き當てるか夫等の興味ある結果は

數時間　後に吾人を待ち受けて居る、今卅二人の候補者とその運動員そして是れを圍繞する人々は胸躍らして刻一刻と迫つて來る斷案の如何なるものである事かに大きな期待を注いで居る、梅雨に這入つた樣な重苦しい險惡な空は

人々の　胸に云ひ知れぬ壓迫を加はいすに置かぬであらう。投票場としての平商校舍は低くたれた空の下に默念として立つて居る、二千數百の有權者の顧ひは其處にこめられて居るのである、候補者の協定に依つて投票場附近には一名の

候補者　も立つて居ないだけ夫れだけ反つて薄氣味惡い靜寂さが漂つて居て時々附近を動く警戒の警官は物々しい空氣を一層し き締めて居る。卅二名の候補者の運命が決する日、二時過ぎ頃からは雷鳴さへも轟いて霖雨しきりに降る、

昨日迄　の騒々擾々を極めた平町として何んと云ふ今日は陰鬱を極めた光景であらう

遞信大臣は
安達謙藏氏
本日親任式

（東京電報）　犬養遞相辭職の爲め憲政會安達謙藏氏が遞信大臣として本日親任式を了した

勿來産米檢査

石城郡南地方の移出米檢査に際して從來は一定の場所なく檢査上に支障少くなかつたが今回勿來に移出米の指定受檢場設立され同地方の檢查執行上の便宜と産米の改良に資することゝなつたので之れが祝賀會は廿九日午前十時より同町役場に於て催されたので縣からは小野技師出張產米改良に關する講演があつた

昨日の
天候が心配
養蠶の注意

昨今の天候不順に關し石城郡の蠶業技手は語る『今年は全縣下に亘つて催青に失敗してゐるが之は蠶種の保護をあやまつたものと思ふ一縷の望みは今後の天候にあるが毎日の天候がこんな風では心配でならぬ最も注意すべきは八十度以上の溫度中に置かぬことが第一の要件である

平銀株主總會

平銀行にては來月十四日午前十時から同行樓上に於て臨時株主總會を開き商法第二百十三條に基き新株式の募集に關する事項報告の件、取締役一名補缺選舉の件、取締役監査役報酬增額の件を附議する由

確かに前議員より
六ケ年は新らしい
今回の候補者達

今日運命の決する候補者と前議員との年齢を比較するに前議員の最年長者三井常松氏の六十三、最年少者中野甲藏氏の四十一、卅名の平均五十五歳に當り今回の候補卅二名の最高齢井上現縣議や靑沼元郡長の五十九歳最低阿部政右衛門氏の卅七を平均する四十九歳で確實に六ケ年新らしく之れを宜く云へば從來に於ける養老院的弊風打破の新傾向であるが果して新議員に更始一新の手腕力量が見られるかどうか若し夫れがなかつたら上老の意見尊重を知らぬ自蒙から來た墮落であつて兎に角新人議員連の四年間の仕事は觀物である

歳下の
雇人とカケ落
平町に潛伏？

東京市淺草區田原町一丁目染料商荒井半次郎の妻ハル（三）は去月廿三日午後四時頃二人の子供を殘して同家の雇人新潟縣生れ大口四郎（二四）と共に駈落ちなしたが平町に潛伏して居る模樣が市し上げます。虫は皆蠅の幼虫です。雪隱にわくものでも矢張り同じです。ですから絶對にこれをわかさぬやうにするには、桶を常に密封して親蠅の出入りができぬやうにすることが大切であります。その他驅除法として漬物の味を損せぬ程度のもので、やはり應の爪かクエンサンを少量入れるほかありませんこの方法は理想的に絶滅さすことは到底できませんけれども相當きゝめがあるやうです。つき目には稻の葉や其他で目をついた時には、ミヨーガの根をおろしてその汁を目につけますと奇妙になほるそうです

漬物桶にわく虫

夏になると漬物桶に兎角一分位の虫がわいてこまります。その豫防法と驅除法を

前借踏倒酌婦　山形

縣南村山郡東澤村大字好見寺ヤノ長女小林ヤス（九）は山形市七日町の飲食店にて前借女中奉公をして居たが廿九日石城郡內鄉村大字宮蛭子飲食店根本福太郎方に逃走し來りたる旨山形署の照會に依り判明し本日平署に收押へられた

あるとて亭主から平署に捜索方願出た

▶▶▶▶▶
ヒロイモノ

△平町一丁目烏海久助君は廿九日飯田書店前にて自轉車一臺△平町田町今野定吉君は廿六日五丁目にて一圓廿九錢在中の墓口△紺屋町鈴木アサ子は廿四日縣社子鍬倉神社境內にて一圓在中の墓口△二丁目古市モト子は十九日一丁目にて現金一圓四十五錢△搥搗小路大木茂太郎君は八日田町にて二圓四十六錢在中の墓口△磐城病院內近山ウメ子は十七日古鍛治町にて八圓卅一錢在中の墓口△田町品澤方金子シツは十四日新田町にて一圓廿九錢在中の墓口△搥搗小路野崎理夫君は十四日同町にて十九圓卅四錢五厘在中の墓口を拾得夫々此程平署に届出た

石城撿定試驗

石城郡內小學校敎員檢定試驗は六月一日から六日間平第一校で裁縫專科は同第二校で施行すると

川前村の馬市

石城郡川前村桶賣市場にては七月四五の兩日馬セリ市を行ふ由

夏向の
ネクタイ
濕好みが流行

日本人には一体に夏は白つぽいものが好まれますが今年は餘りぱつとしない地味好みと云つた調子でフランス式のものが好まれます之にも織地縞地とありますが織地では人絹や絹の中に木目を配したものが七八圓代から二十三圓と云ふ樣な却々こつた物が好かれますが一般には和製で人絹及絹物で流行の木目模樣で二圓から三圓臺までが最も廣く用ひられてゐます又取扱が簡便なために編地の地味なものが一圓五十錢から二三圓と云ふ處も活動家向として愛用されますよく見受ける若い人の蝶形ネクタイは之から初夏の頃まで非常にふさわしい物として若い人達に歡迎されるものです

郡衙廢止後に
町村の併合
百戸ない村

郡役所廢止を前にして町村の併合は目下の急務とされてゐるが現在縣內第一の石城郡では四十町村を算してゐるがそのうちには荷路夫貝泊、石住のやうな

六十戸　前後の寒村もありまた渡邊、簀輪、澤渡三坂の諸村は三百戸未滿でこれ等の諸村は一村として經濟的にまた財政的に獨立するを得ないため現在組合村を組織してゐるがこれ等は當然合併の必要あるもので五百戸

未滿の　ものが現在十八ケ町村の多きに達するを見てもこれ等は自治體として郡衙廢止後における機能を發揮するに幾多の支障を來たし殊に新事業の設施經營に當たり町村債を起こす上からいつても小町村では信用程度低きを免れないやうな

事情に　あるので近くそれ〴〵村の歷史慣習等を調べた上で縣郡等から合併を慫慂する方針であると

苗不足憂慮
郡南苗代不良

石城郡南部方面苗代は發芽不良なる上鳥虫害も少からず一般から不足を憂慮されてゐる

募集
文藝其他投稿を募集します

平町人事

▲婚姻
△南町四五　綿商鈴木吉猶氏（二八）
石城郡平窪村小野クラ（二三）

▲死亡
△自銀町一　清基二（八つ）
△五色町四九　小山ヤイ（六六）

見よ東亞の
超特作品
連續時代劇
元祿遺聞
二人姉妹　前篇六卷
全三篇十八卷連續
獨特の時代喜劇
四十年の戀　三卷
冒險探偵活劇
人を喰ふ話　五卷
時代劇
遠山櫻　八卷
日曜ヒル有マス
平劇場
電五五五